



2025年7月31日

各 位

会 社 名 株式会社INFORICH

代表者名 代表取締役社長兼執行役員CEO 秋山 広宣

(東証グロース市場、コード：9338)

問合せ先 執行役員CFO 渡邊 雄介

メール： ir@inforichjapan.com

投資家の皆さまからのご質問と当社見解（2025年7月）

日頃より当社へのご関心をいただきありがとうございます。

本開示は、投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的に、投資家様から頂戴した主なご質問とその回答について、毎月月末を目途に行っているものです。

尚、現時点では直近の業績等の数値に関する情報はご提供できません。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

また、過去にお答えしたご質問を、IRホームページのFAQで公開しております。こちらもご活用いただけますと幸いです。（<https://inforich.net/ir/faq/>）

Q.1 第2四半期期決算のスケジュールについて。

第2四半期の決算発表及び説明会を以下の通り実施いたします。

■ 決算発表：8月13日（水）15:30（予定）

■ 機関投資家・アナリスト向け説明会：8月13日（水）18:00～19:00

- ・オンライン形式で実施いたします。
- ・詳細はみんせつ上で公開済みです。
- ・説明会の動画は当日中に公開予定です。
- ・質疑応答一覧と書き起こしの公開も後日実施します。

■ 個人投資家向け説明会：8月18日（月）18:30～19:30

・視聴方法: Zoom ウェビナー、Youtube

◇Zoomウェビナー：下記お申込みURLよりご登録ください。当日のチャット機能からご質問をお送りいただけます。

◇Youtube : <https://youtube.com/live/yJQAMqNss8I>

(視聴のみご参加いただけますが、事前にご質問がございましたら、下記お申込みURLよりご登録の際にご記入ください。)

・お申込みURL : <https://forms.gle/CMNTB9ntVzkTehD96>

(ご登録後オンライン視聴の詳細をお送りいたします。)

Q.2 「ChargeSPOT」のモバイルバッテリーの安全性について。

当社サービスで利用しているモバイルバッテリーは、日本をはじめとした各国の安全基準に沿ったものであり、以下のような方法で安全性を高めています。

- 日本のPSE、欧州のCE認証など各国の安全基準をクリア
- エネルギー効率と安全性のバランスに優れたリチウムポリマー（LiPo）電池技術を採用
- 過充電、過放電保護回路を標準搭載し、発熱・火災リスクを最小化

当社のモバイルバッテリーは、どこに装填されているのか/どのような状態か/最後にどのユーザーが・どこで借りたのかが分かります。

バッテリースタンドに装填されているものについては常時監視を行い、高温になるなどの異常を検知した場合は給電の停止や回収の措置を取ることで、安全性を担保しています。

～いつでも、どこでも安心して使える理由は？～

1 国際基準に準拠した高品質バッテリー
✓ エネルギー効率と安全性のバランスに優れたリチウムポリマー（LiPo）電池技術を採用。
✓ 日本のPSE、欧州のCE認証など各国の安全基準をクリア。
✓ 過充電、過放電保護回路を標準搭載し、発熱・火災リスクを最小化。

2 耐久性の高いバッテリースタンドの設計
■ 耐火性、耐衝撃性に優れたバッテリースタンドで、真鍮製の使用も安心。
■ 全国各設置拠点で定期点検を実施し、常に安全な状態を維持。

3 暗号化によるセキュアな通信
■ アプリとサーバー間の通信、支払い情報、データベース情報などはすべてエンドツーエンドの暗号化通信。

4 認証による不正アクセスの防止、適切な個人情報管理
■ 着すべてのアクセスに対して多層認証を導入し、不正アクセスを防止。
■ GDPR（※）および日本の個人情報保護法に準拠したデータ管理を実施。

5 24時間サポート体制
■ アプリ内の「ヘルプ・お問い合わせページ」からいつでもお問い合わせ可能。

6 ギグワーカーによる保守ネットワーク
■ 現場に近いギグワーカーが日常点検・トラブル対応を迅速に実施。

7 リアルタイム監視 × 即時対応
■ すべてのステーションとバッテリーをIoTで24時間監視
■ 異常検知時はすぐに回収・交換を行い、安全を確保

チャージスポットの安全設計

「ChargeSPOT」はこれからも、見えないところまで安全・安心に利用できる環境づくりにこだわり続けます。

※GDPR（General Data Protection Regulation）
EU（欧州連合）が定める、個人情報保護に関する法規制。EU域内の個人データを取り扱うすべての企業に適用され、同意取得やデータの透明な管理、消去請求の権利などを定めています。

詳細はこちらの記事をご確認ください。 <https://chargespot.jp/article/7588/>

しかし、ユーザー様の利用方法によってはどのような安全なバッテリーであっても発火するリスクがあります。そのため、ユーザーの皆さまへのモバイルバッテリー全般の使用に際した注意事項の啓発活動にも取り組んでおります。



詳細はこちらの記事をご確認ください。 <https://chargespot.jp/article/7602/>

モバイルバッテリーは廃棄に際しても注意が必要な製品です。

(※モバイルバッテリーのみならず、リチウムイオン電池が内蔵された製品全般が該当します。)

一般ごみに混ざって収集された場合、ゴミ収集車やゴミ処理場での処理過程でかかる圧力によって発火するリスクがあります。

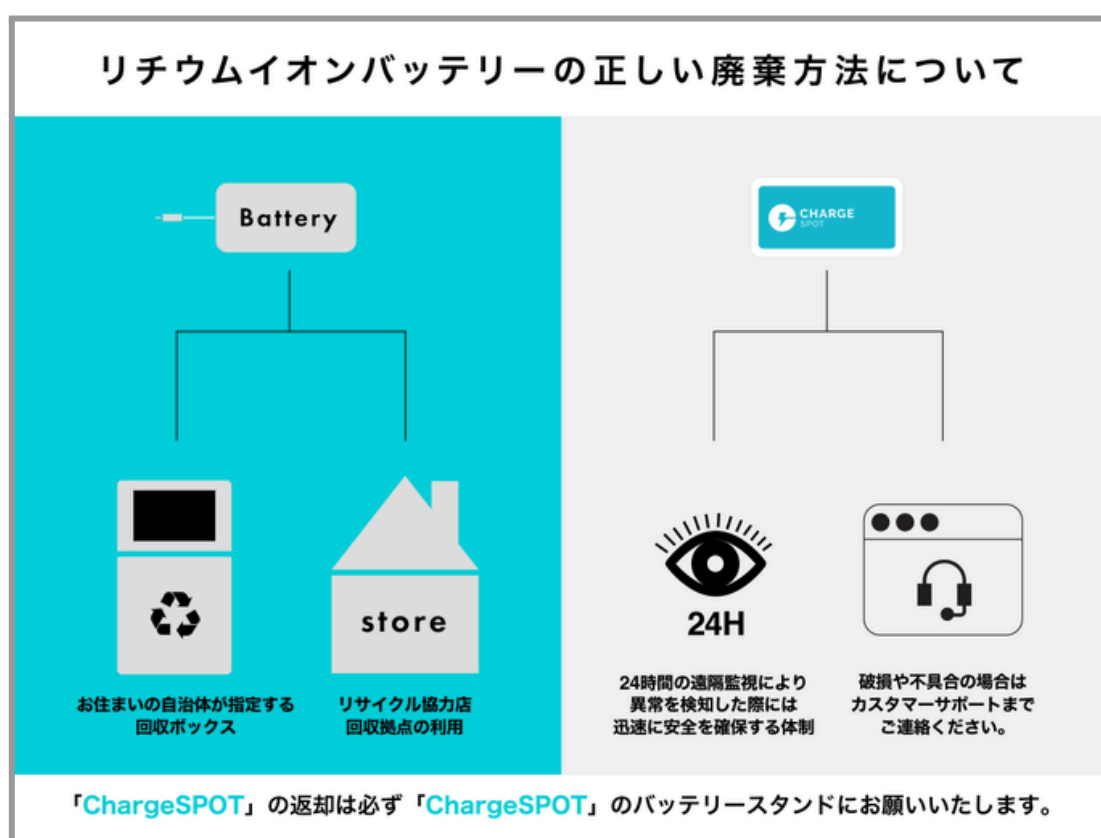
環境省によると、2023年度にごみ処理施設やごみ収集車などで起きたリチウムイオン電池に起因する火災は8,543件と、重大な社会問題になっています。

一方で、廃棄に際しての消費者の手間が大きいことも課題です。

モバイルバッテリーの廃棄ルールは自治体によって異なるため、捨てようと思っても分かりにくいことがあります。また、自治体によっては廃棄場所が少なかったり、一部のバッテリーしか回収できず、捨てたくても捨てにくいという現状があります。

INFORICHでは、バッテリーの劣化状況を監視し、必要に応じて回収した後に適切な再資源化処理を実施しています。

(※モバイルバッテリーが破損している場合や不具合があった場合は、アプリからカスタマーサポートまでご連絡ください。)



「ChargeSPOT」の価値は、安心・安全なモバイルバッテリーを、保管時の不安や廃棄の際の手間などの煩わしさなく、便利にご利用いただけることにありと考えております。

当社では、今後も安全性と利便性に配慮をしながら、事業の運営に取り組んでまいります。